

展勝地風土記

Vol.14

平成27年10月23日
展勝地開園100周年記念事業準備委員会
問い合わせ／北上市都市整備部都市計画課 ☎72-8279

展勝地開園100周年記念事業準備委員会では、100周年に向けた取り組みとして、より多くの市民に展勝地を知っていただくため、展勝地に関するさまざまな情報を紹介しています。歴史的なこと、地理的なこと、自然環境のこと、そして、展勝地に深く関わった人々や展勝地を題材にした美術・文芸作品などについて紹介していきます。次回は平成28年1月22日に発行します。

『展勝地の鳥たち(野鳥)』

征矢 和宣

征矢 和宣(そやかずのり)
1946年昭和21北上市生まれ。
公益財団法人日本野鳥の会北上支部会員。

継がれており、この環境を守ることがとても大切なことだと思います。

皆さん、民俗村の南側にある「憩いの森」を歩いてみたことがありますか。ここでは春夏秋冬、四季を通していろいろな鳥たちに会うことが出来ます。特に、早朝は眠りから覚めた鳥たちが活発に動き始め、すてきな鳴き声を聞かせてくれます。朝の澄んだ爽やかな空気を胸いっぱい吸い込み、ゆつくりと歩いてみることをお勧めします。

私たち日本野鳥の会北上支部では、毎年五月の愛鳥週間、いわゆるバードウィークと呼ばれる期間中に、展勝地みちのく民俗村を中心に北上川を含めたエリアで、一般の皆さんの参加を募り探鳥会を開催しています。私が会員になる前から実施していますので、かれこれ三十年以上の歴史があります。

なぜ展勝地で探鳥会を行うのかと考えると、身近な里山として、観たり鳴き声を聞いたりすることが出来る鳥の種類が多いことだと言えます。

例を挙げると、スズメ・ハシブトガラス・ハシボソガラス・トビなどの身近な鳥たちから、ウグイス・メジロ・シジュウカラ・ヤマガラ・エナガ・キクイタダキ・ヒヨドリ・ツバメ・イワツバメ・キビタキ・ウソ・オオルリ・サンコウチョウ・イカル・ホオジロ・ヤブサメ・コゲラ・アカゲラ・アオゲラ・ハクセキレイ、そして「北上市の鳥」であるキセキレイです。「いつまでもキセキレイが棲み続けるきれいな環境を守ろう」という願いが込められています。

また、北上川には、カワセミ・ヤマセミ・カルガモ・コサギ・アオサギ・ダイサギ・カワウ・イソシギ・ハマシギ・イカルチドリ、冬にはオオハクチョウ・コハクチョウ・アメリカコハクチョウ・オナガガモ・ヒドリガモ・アメリカヒドリガモ・オシドリ・ホオジロガモ・コガモ・マガモ・カワアイサ・ミコアイサ・ジョウビタキ・カシラダカなどが飛来します。

猛禽類では、トビ・オオタカ・ノスリ・ミサゴ・サシバ・チョウゲンボウ・チゴハヤブサ・オジロワシ・オオワシ・フクロウなどが飛来したり、生息しています。

民俗村を中心に国見山、男山、和賀川と北上川、それに桜並木を含めた歴史のある自然と環境が代々受け



キビタキ



オオルリ

このことは、私たちが豊かに生活できることのみならず、年間百種を超える鳥たちや生きものたちもまた生きていけることにつながるのであつて、後世に引き継いでいかなければならない非常に大切な宝物だと思えます。皆さんも一度、鳥たちの声を聞きながら散策などしてみたいかですか。

野鳥の会主催の探鳥会は市の広報にも掲載されます。探鳥会では野鳥の会の会員がご案内し、双眼鏡をのぞいたり、鳴き声を聞いたりしながら野鳥のことについて詳しくご説明いたしますので、どしどしご参加下さい。



ヤマセミ



チュウサギ



ミサゴ



カワセミ



キセキレイ



ノスリ